

宮沢賢治

2012 年追試

問 5 次のア～エは、他者と自己の関係について考えた人物であり、A～Dはその考えである。これらの人物とその考えの組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。

35

- ア 宮沢賢治
- イ レヴィナス
- ウ マザー・テレサ
- エ 夏目漱石

- A 自己の理解を絶対的に超える他者が現れ、自己がその他者に無限の責任を負うことが、人間の倫理的なあり方である。
- B 世界全体の幸福なくして個人の幸福はないので、宇宙万象とのつながりを自覚することで、他者への共感を強めていくことが重要である。
- C 他者に迎合するのではなく、他者への依存を捨てると同時に他者を尊重する自己本位によって生きることが重要である。
- D 誰^{だれ}からも見捨てられ、本当に困窮している他者に対して、愛と憐^{あわ}れみをもたずに無関心でいることが最大の罪である。

- ① アーD イーA ウーC エーB
- ② アーC イーD ウーA エーB
- ③ アーB イーA ウーD エーC
- ④ アーA イーD ウーC エーB
- ⑤ アーC イーA ウーD エーB
- ⑥ アーB イーD ウーA エーC
- ⑦ アーC イーB ウーD エーA

⑧ アーB イーC ウーD エーA

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第5問	問5	35	③	3

2008 年追試

問 7 宮沢賢治の宗教観の説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

20

- ① 報恩感謝の念仏で生きとし生けるものの極楽往生を目指す。
- ② 瞑想に専念して自由自在な無我の境地に入ることを目指す。
- ③ 自己犠牲の精神で生きとし生けるものの幸福の実現を目指す。
- ④ 世間を捨て去って難行苦行によって悟りを開くことを目指す。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 3 問	問 7	20	③	3